



東中だより

夢を追い、自らを高めよ
— 学べ・磨け・輝け —

11月号

さいたま市立東浦和中学校

〒336-0932 さいたま市緑区中尾 1207-1

☎ 048-873-4141

令和元年10月31日発行

自分を鍛え、磨こう！

校長 石川 賢一

テレビを見ていると、美しい木々の紅葉を映し出すシーンを目にする頃になりました。しかし、同時に、台風による大きな被害を受け、なかなか復旧作業が進まない現状も映し出され、被災した方々が、一日でも早く元の生活に戻られることを願うばかりです。

さて、10月初旬の新人大会では、運動部のみなさんが素晴らしいがんばりを見せてくれました。3年生が引退し、新しい部の体制を作りつつ、練習に励んできました。それぞれが「勝つ」という目標に向かって一生懸命な姿を見ることができました。

10月19日（土）には埼玉会館で合唱コンクールが行われ、生徒のみなさんの思いが伝わってくる、鍛え上げられた素晴らしい合唱を聴くことができました。あの素敵な発表曲が完成するまでに、クラスとして向き合ういくつかのハードルを越えてきた姿を日々見てきました。だからこそ、ステージで奏でられる歌声に、胸が、そして目頭が熱くなりました。特に、歌に込められた思いを見事に表現した3年生の合唱には魅了されました。また、7組の発表の姿には、毎年心打たれる思いです。みなさん、素敵だった。ほんとにありがとうございます。そして、毎日お子様を励まし、またご来場いただきました多くの保護者・地域の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

10月29日（火）には市内駅伝競走大会が開催されました。台風19号により予定されていた荒川運動公園が冠水し、駒場競技場での各区分単一でのタイムレースになりました。襷（たすき）を繋ぐレースではありませんでしたが、まさしく「1秒でも削る」という自分との勝負になりました。学校代表の選手として毎日練習に励み、苦しさに耐えながらも自分を追い込む練習で培われた力は、参加62校中男子25位・女子6位と見事な結果を出してくれました。まさに「ONE TEAM: チーム東浦和」として、仲間が励まし、選手が自らを追い込み、ゴールまで「1秒でも早く」という力強い姿が見られました。苦しきから逃げず、自分を追い込み高める姿勢・表情、その鍛えられた姿、チームとしての絆を感じる姿は、感動的なものでした。

私は、成長の過程において「鍛えられる」経験は、必要だと思っています。7月号でも「鍛える」ことについて書きました。『「できていないところへの挑戦」心にも身体にも痛みを伴いながら、それでも、逃げずに「痛み」を抱えながら前へ進んでほしい。これから、日々激動と言われる社会に出て生きて行くためには、この「鍛える」過程での経験・努力が、間違いなく君たちの成長につながる力となる』と伝えました。合唱・駅伝という行事を通して見られた姿。東中生みんなが、これからも、自らを鍛え、逞しく成長していくことを、応援しつつつけていきます。